



2020年2月4日

各 位

会社名 日本曹達株式会社
代表者名 代表取締役社長 石井 彰
(コード番号 4041 東証第一部)
問合せ先 総務グループリーダー 竹内 哲
(TEL 03-3245-6053)

「長期ビジョン」に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年度を初年度とする「長期ビジョン」の施策要綱を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、本年2月1日に創立100周年を迎えました。これもひとえに株主、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。しかしながら、2019年度を最終年度とする現中期経営計画は、新規事業開拓の未達や事業環境の変化などにより、数値目標の達成は困難な状況にあります。

このような中、当社は2020年度を初年度とする10カ年の「長期ビジョン」およびその第一段階となる3カ年の「中期経営計画」の策定作業を進めております。

「長期ビジョン」におきましては、現中期経営計画のレビューを踏まえ、事業の選択と集中を加速させ、新規事業の創出と成長事業の拡大を図るために経営資源を集中投下するとともに、徹底した経営の効率化を推し進めます。資本政策面では、成長投資と株主還元の両立を図りつつ、資本効率の向上を目指します。

また、本日発表いたしました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」の通り、本日開催の取締役会において、取得株式の総数200万株、取得価額の総額50億円をそれぞれ上限とする自己株式取得を決議いたしました。これは、新たな100年のスタートにあたり、当社の決意をお示しするべく、「長期ビジョン」に掲げる「企業価値向上」の一環としての株主還元策を前倒しで開始するものです。

さらに「ガバナンスの強化」に向けて、本日発表いたしました「監査等委員会設置会社への移行に関するお知らせ」の通り、本日開催の取締役会において、本年6月に開催予定の第151回定時株主総会においてご承認いただくことを条件として、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行することを決議いたしました。

「長期ビジョン」および「中期経営計画」の詳細につきましては、本年5月に発表の予定です。次の100年に向け、新たな覚悟をもってさらなる企業価値の向上に努めてまいります。

1. 「長期ビジョン（10年後にありたい姿）」の概要

(1) ミッション：

『新たな価値を化学の力で創造し、「社会への貢献」を通じ「企業価値の向上」を実現する。』

(2) 基本戦略：

ROE・ROAを重視した成長投資と徹底した構造改革により
『高効率な事業構造に変革してゆく。～利益効率を二倍以上に～』

(3) 資本政策：

成長投資と株主還元のバランスを重視した政策を機動的に実施する。

(4) ESG 経営：

2020年代の顧客と社会環境に求められる製品・サービスを通じ、社会に貢献する。

(5) KPI：

ROS（営業利益率）	10%以上
ROA（営業利益／総資産）	7%以上
ROE（当期純利益／自己資本）	8%以上

2. 「中期経営計画（2020年度～2022年度）」の一部

(1) 成長投資：

新規事業および増産の設備投資に300億円を投資する。
既存事業と周辺事業領域の強化・拡大を図るべく、M&A・事業提携を検討する。

(2) 株主還元方針：

現中期経営計画 (2017年度～2019年度)	新中期経営計画 (2020年度～2022年度)
総還元性向 30%	配当性向 40% (但し、1株当たり年間配当金80円を下限とする。) 配当を補完する株主還元策として、自己株式取得を機動的に実施していく。

以上